

無所属市民派 西東京市議会議員



# 森てるおの なんでもりポート 第18号

2004年1月発行（隔月発行） 定期購読料：年間1,000円（送料含む）  
編集：森てるお事務所 発行：森てるおと市民の目

## 2004年、あけましておめでとうございます

年末には航空自衛隊が戦地へと飛び立ちました。新年早々には、地上軍、陸上自衛隊が派兵されそうな雲行きです。この国の未来が、小泉純一郎という俗悪政治家とその一党、戦争を容認する自称「平和の党」、批判のポーズで容認する「最大野党」らによって根本から突き崩されようとしています。共通項は「現実に理念を合わせる！」です。その昔、日本軍が「足は靴に合わせる！」と言ったように。

この愚かな軍事路線で誰が得をするのでしょうか。富める国が貧困の国を滅ぼし占領しました。なんのために、どんな利益のためでしょう。今、この国は富める国に荷担しようとしています。この国政を変えよう、まず地方から。

### 情報公開が市政を変える

さて、目を転じて西東京市では、まもなく市長選1年前になります。前回の市長選挙に暗澹たる思いを抱かれていますのではないのでしょうか。

合併この方、西東京市政は抽象的な市民参加、中身のないまち作りのイメージばかりが先行し、実際は旧来のハコモノ行政の焼き直しではないかと感じています。市民の「どうして？」に答えられる行政でないことだけは確かです。納得できない行政と言っていいと思います。

市長の姿勢でこれだけ違う

過日、千葉県我孫子市の福嶋浩彦市長の話聞く機会がありました。我孫子市では3年前、市が独自に出している補助金をいったん全廃しました。そして、改めて申請し直してもらって、時代に合致した必要性、妥当性の審査をし、漫然と続けられてきた補助金の整理に成功しました。2004年は3年目の再見直しで、その作業を行っているところだと聞きました。評価基準を点数化することによって市民にわかりやすい形で進められました。肝心なのは「透明性」なのです。

2003年は、議員等からの要望を行政全体の課題にするとともに、行政をゆがめるおかしな口利きをなくすことにもなる「公職にある者から受けた提言、要望等に対する事務取扱要領」を制定しました。議員等から職員に行われた要望などを、文書化して上司に報告することを義務づけるもので、文書は当然情報公開の対象になります。ここでも鍵になるのは「透明性」です。

市民の目がきちんと行政内部まで届いて光っているような「透明性」が市民参加の基礎です。徹底した情報公開は、市民委員が行政のプロや政策通に手玉に取られかねない「審議会型市民参加」を凌駕するものなのです。

議会のチェックを受ける姿勢に共感

議会との関係では、「根回しをしない、だから提案が議会で否決されることがたくさんある。」と話をされました。いい意味での緊張関係を行政側から求めているのかなとの感想を持ちました。ほとんどの行政は緊張関係よりもなれあい求めています。こんな行政に対して、私は行政をチェックする議会の側から緊張関係を作ろうとしています。つまり、是々非々ということです。だから立場の違いはあれ、福嶋市長に共感します。ちなみに福嶋市長は議員3期半ばで市長になったそうです。議会を熟知した上での考えのようです。 （裏面を続けてご覧ください）

(表面から続きます)私がかねてから、地方自治法に基づく今の議会は中途半端で、定数や報酬の制約がなくなれば少数のプロフェッショナル集団による議会か、大勢のボランティア議会かに二分化するだろう、私はボランティア議会を選択するとの考えを表明していますが、福島市長も同じように二極分化すると話していました。そのときには、当然行政の役割も変化することになります。

#### 情報公開は議会をも改革

議会の二分化はまだ先の話ですが、情報公開を道具にすれば、今の議会を変えることは可能です。市民が議員や議会に不信を抱くのは、情報公開が遅れているからです。とりわけ、報酬の割に議員の活動が見えないことに大きな原因があります。私は議員の報酬の考え方を変えることで、議員の活動が市民の目に見えるようになり、市民が議員評価をし易くなると考えています。

議員報酬は活動のための費用が建前で、実態は生活費+活動費になります。12月議会で期末手当の率の引き下げが行われました。この時代だから生活費の引き下げは当然でしょう。しかし、引き下げが活動費の切り下げになれば市民にとっては損失です。(生活水準を下げるといのは議員にとっても難しいものです。報酬はどんぶり勘定だから、活動費を切りつめれば生活費はこれまで通り、となると、普通はそうするのではないのでしょうか?)

「報酬を生活費相当分にまで大幅に引き下げて、活動費を別枠で必要経費として支給する。上限を定め、使わなければ返す。使った分は領収書付きで報告することを義務づけて情報公開の対象にし、透明性を確保する。」これでどう変わるかご想像ください。長期的には利権議員を淘汰できると思われませんか。

## 年末交流会(忘年会)へのご参加ありがとうございました!

12月13日に行った年末交流会にはたくさんの方にお越しいただきありがとうございました。大勢の方とお話できる機会が持て、森てるおも今後の議員活動の糧として大きなパワーを得ることができたようです。

また、何人かの方からは「楽しみにしていたが都合がつかない」とのご連絡をいただきましたがまた別の機会に是非お話ができるように、時々このような集まりを持ちたいと考えています。

今年も森てるおへのご支援とともに、忌憚のないご指摘、ご批判をいただき、活発な議員活動を行っていただけるよう、皆さまのご協力をお願い致します。  
(森てるおと市民の目)



## 森てるおの活動記録(2003年11~12月)

主なものを掲載しています。

- |       |                                  |       |               |
|-------|----------------------------------|-------|---------------|
| 11月5日 | 川田えつ子氏衆院選応援(~8日)                 | 12月1日 | 本会議           |
| 10日   | 農薬問題質問書提出                        | 2日    | 一般質問          |
| 11日   | 決算委員会(~12,17,19)                 | 8日    | 建設環境委員会       |
| 16日   | ふれあいセンター懇談会<br>開かれた議会をめざす会シンポジウム | 9日    | 予算特別委員会(~10日) |
| 25日   | 行政調査                             | 11日   | 駅周辺再開発等特別委員会  |
| 26日   | 議会運営委員会・駅周辺再開発等特別委員会             | 13日   | 年末交流会         |
| 27日   | 森てるおと語る会(保谷,29日田無)               | 16日   | 本会議           |
|       |                                  | 19日   | 土地開発公社評議員会    |



環境負荷の少ない大豆油を原料の一部に使用したインクを使用しています。

